

第2号議案

令和6年度事業計画書及び収支予算書承認の件

令和6年度事業方針(案)

理事長 中川 法一

会員諸氏の各職場では未だマスク着用のレギュレーションが解除されないという状況はありつつも日常生活はほぼ通常に戻りました。昨年度はオンライン主体の研修形式から対面開催を徐々に取り戻すことができ、会員の皆さまからも高評価を頂戴しております。引き続き、会員の研鑽をサポートする任務を全うして参ります。また、特別諮問委員会（センター自立推進委員会、総合理学療法学プレゼンス向上委員会、学会・研修集会在り方検討委員会、役員構成等検討委員会）も今年度で活動の一区切りとなりますので、注視していただけたらと思います。

大阪府理学療法学会、生涯学習研修集会、総合理学療法学という3本の中核的イベントと、それを取り巻く研修事業を令和6年度も数多く展開して行く予定です。第36回大阪府理学療法学会は女性初の大会長として増田知子氏に「ワーク・ライフ・インテグレーション」をテーマに2024年7月28日(日)に大阪国際会議場にて開催を致します。第6回生涯学習研修集会は工藤慎太郎実行委員長の指揮のもと、研修集会本来の姿に戻るべくハンズオンに拘った企画で2024年10月5日～6日の日程にて開催の予定です。当日の現地講習に先立ちオンラインでの事前研修を行うという入念かつユニークな研修計画となっておりますので、奮ってご参加をください。

登録理学療法士、認定理学療法士のための研修事業も引き続き開催してまいります。特にセンター主催研修会は実に60回の開催を計画しております。単純計算で月に6回というペースでの開講となりますので、ニーズに合致した研修テーマが必ずありますので、ホームページやSNSでの情報チェックをお忘れなきように願います。また臨床実習教育の質向上のための取り組みも全国のリーダーシップを担えるように継続開催してまいります。

一昨年度より計画をお伝えしておりました、大阪府作業療法士会、大阪府言語聴覚士会との定例合同研修会の第1回目の開催が「高次脳機能障害と社会参加」をテーマに据えて2024年9月1日に開催を予定しております。定例会として定着させるためにも、府民への理学療法士・作業療法士・言語聴覚士のプレゼンスを示すためにも多くの方々の参加をお待ちしております。

事務的な側面に触れておきますが、府士会組織内にセンターの前身である学術局として存在していた時は府士会全体予算の20%を執行していました。センターの創設後も同様に20%の分担金で運営してまいりましたが、今年度より10%に減額できるまでに成長をしております。今年度からは分担金ゼロをめざして事業を展開していくわけですが、センターの経済的自立は府士会予算の縮小であり、単純計算ではありますが結果的に会費の20%減額が実現できる余力が府士会に生じます。若手会員の協会費負担感が求心力低下の一端であるという課題に対し、センターでも微力ながら尽力をいたしております。会費という局所的問題だけでなく、僅かな予算で活動していた小さな一部局がその数十倍の会員向け研修活動を行えるようになったという事実は、センターとしての機能分化の大きな成果であると考えています。この意味と意義を会員の皆さまにも十分

に理解していただき、職場や周囲の方々をお誘い合わせの上、センター事業にご参加をくださいますようお願い申し上げます。

今年度も市区町村士会の生涯学習担当の方々には、今年度も貴重な時間を割いていただくことになりますが、私たち理学療法士が学び続ける集団となるよう、何卒ご理解とご協力をお願いいたします。